

『国連研究』 第 12 号 原稿募集

2010 年 8 月 5 日

日本国際連合学会 編集委員会

学会員のみなさん

『国連研究』第 12 号の原稿を下記の要領で募集いたします。ふるってご応募ください。なお、原稿の採否は、査読を経て編集委員会において決定いたします。

1. 応募原稿

1) 特集テーマ関連の論文

「安全保障をめぐる地域と国連（仮題）」

ポスト冷戦と称される時代に入って、20 年が過ぎようとしています。この間に、内戦やテロをはじめとする多様で新しい脅威を経験することになった国際社会は、国連を通して、伝統的安全保障方式の変則的活用や新しい平和活動方式の創出などによって、それらに対処してきました。安全保障という概念も、軍事的側面にとどまらず、開発や人権といった人間の生活全般にかかわって広く議論されるようになってきています。

『国連研究』第 12 号では、そうした国連での模索をレビューし今後を展望するために、地域と国連との関係性に着目して特集を組んでみたいと思います。国際社会において、紛争は多層的構造を持つ地域で起き、地域の国家ならびに機構などの諸アクターが国連と共に平和活動に携わる可能性が模索されてきているからです。

1945 年に「国際の平和と安全の維持」を目的として設立された国連は、21 世紀の現在ではグローバルな安全保障を使命とするに至っています。国連による広範な平和活動は、リージョナルあるいはローカルな安全保障とどのように関係しあい、各地域のアクターとどのように協働して行われているのでしょうか。国連憲章第 8 章の現代的意義、欧州・アフリカ・中南米・アジア・中東などの地域での国連による各種の平和活動と地域アクターとの関係、国連のグローバリズムとリージョナリズムに関する理論的ならびに歴史的考察など、広義の安全保障をめぐる国連と地域との関係性に多角的視点から光をあてる論考をお寄せください。

2) 実務家の視点に基づく政策レビュー

『国連研究』では、研究者による論文に加えて、実務家の方々による現場の目を通した論考も掲載しています。国連における、また国連に対する政策レビューや提言などをお寄せください。国連学会は理論と実務をつなぐ学会としての性格を大切にしています。

3) 独立論文

特集テーマとかかわらない論考は「独立論文」として投稿を受け付けています。特に、若手研究者による研究発表の場として、投稿を歓迎します。

4) 書評

書評対象となる著書（原則として過去2年以内に出版された邦文・欧文）、書評者に関するご提案もお待ちしています。

2. 応募方法と締め切り

1) から3) の論文タイトルおよび論文趣旨（800字程度）、ならびに4) の書評対象と書評者候補を、2010年9月3日までに下記宛にお送りください。

できるだけ電子版でのご提出をお願いします。（郵送の場合は、その旨をメールで連絡してください。）

〒 187-8577 東京都小平市津田町2-1-1 津田塾大学内
大泉 敬子（『国連研究』編集担当）
E-mail : oizumi@tsuda.ac.jp

3. 採否

お送りいただいたタイトルと論文趣旨を査読し、まず「執筆」の可否を決定しご連絡いたします。「執筆可」の場合には、原稿をご執筆いただき、11月15日までに完成原稿をご提出ください。提出原稿は、編集委員会で査読し、修正が必要な場合には修正をお願いした上で、最終的な「掲載の可否」を決定いたします。

4. 提出締め切り日程

応募（タイトルおよび論文趣旨、書評対象と書評者）	2010年9月3日
投稿論文（特集論文、政策レビュー、独立論文）	2010年11月15日
投稿書評原稿	2010年12月15日
『国連研究』第12号発刊予定	2011年5月

以上